

# およばれの日(クリスマス遊び)

東京市麴町幼稚園 柴 田 み どり

幼い子等の楽しみにしてゐる、クリスマスも直ぐ参ります。大きな袋を背負つて赤い服をきたやさしいサンタクロースのお爺さんは子等の世界にはなくてはならぬものになりました。それにつけて幼稚園でも宗教的な立場から離れて行事として取入れてゐる處も澤山見受けますので冬のおよばれの會に取扱つてみることに致しました。小さい主人公が他の組の大勢のお友達をおよびするので月から一ヶ月も前からいろいろと準備を整へなければなりませんので、本月初めにせていたゞく事に致しました。試みていたゞくきましたら喜しく存知ます。

草案 - 保姆が話しつゝ會を進行させます)

サンタクロース (保姆が簡単な扮装をすれば尙よろしいと思ひます)

「こんにちは。私は今雪組や花組のみなさんをそれら

面白い處へつれて行つて上げませうと思つてあの寒いお國から來ました。みなさま私の名前を良く知つてゐらつしやるでせう。そう「サンタクロース」みんな知つてゐらつしやいますね。では私は何をしに毎年クリスマスになると來るのでせう。そうそれも良く知つてゐらつしやいますね。私はお父様やお母様や先生のおつしやる事を良くきく元氣のある子供達によい御褒美を持つて來るのでね。でも今日は異なります。みんなを面白いところへつれて行きませう。みなさんのお家には皆さんが幼稚園にゐらつしやつた後にはどなたがお留守居してゐるのでせう。お母様、お祖母さま、お女中、赤ちゃん、そう、でも未だあります。それはみんなの大事なおもちゃや繪本でせう。汽車だの電車だの積木だのクレヨンだのお帳面だのお人形さんがお机の上や戸棚の中で靜かに皆さんのお歸りを待つてゐるのでせう。

でもね、今日は異ひますよ。今日は玩具の國のクリスマスです。ですから今に私のところへ皆來ますよ、そこで私が皆さんをそうつと其の玩具の國のクリスマスにおつれしやうと思ふのです。皆さん行きますか。それならその前に二つだけお約束をさせよう。一つは皆おはなしをしないで静かに見てゐること、もう一つは私がほら明けませうと云ふまで眼をつむつてゐる事、出來ますか。そう、それならゆきせう。

さあ眼をつむつて下さい、一、二、三、

静かな曲しばらく。この間に幕があれば開きます、なければ舞臺のいろ／＼な飾り、椅子など手早くならべます。

さあ着きました眼をあけませう。おや未だ早かつたのでせうか、誰も来てゐませんよ、ではしばらく待つてゐませう、年をとるとくたぶれますね、ドッコイショ。

あゝ來ました／＼、さあ静かにしてゐませうね。

「兵隊さんが來る様です、やつぱり兵隊さんは一番元氣です」

兵隊「サンタクロースのお爺さん今日は。クリスマスお目出度う」

サンタ「やおお目出度うよく早く來られましたね一番ですよ」

兵隊「えゝ僕の家の坊ちゃんそれは元氣で幼稚園にもいづも一番早くゆきますから僕もそれに負けないやうに早く來たのですよお爺さん」

サンタ「それはよい坊ちゃんです、どれ／＼しばらくまつてゐらつしやいもう皆も來るでせう」

お人形「サンタクロースのお爺さん今日はクリスマスお目出度う」

サンタ「よく來ましたねお人形さんのお着物はいつも美しいのですね」

お人形「えゝ私の八枝子さんは私をいつも／＼大事にしてかわいがつて下さるからよごれたりこわれたりしないで嬉しいのよお爺さん」

サンタ「いゝお嬢さんです。あゝこんどは大勢來たやうですよ」

電車に乗つて出場（紐の中に入つて来る）キュービー。凧。羽子板。毬。首ふり人影。犬。等。

電車「どなたも終點、おもちやの國です」

一同下車整列して

一同「サンタクロースのおぢいさん今日は。クリスマスお目出度う御座います」

サンタ「みんなそろつてよく來ましたね。お目出度う、もうだいぶそろいましたね」

電車「僕が來る時未だ汽車さんが電車通りでグヅ／＼してゐました」

自動車「ブウ／＼。あゝ重かつたさあつきました」

（水兵、汽車降りる）

自動車、水兵、汽車一緒に「サンタクロースのお爺さん今日は、クリスマスお目出度う」

サンタ「お目出度う。汽車さんはどうして自分でこなかつたのです」

汽車「あのね」今朝僕の家の春夫さんが僕をひどくなげたので車が一つどつかへなくなつてしまつたのです、僕だけ

らなかく歩けなくつてやつと自動車さんと來たの」

サンタ「それはかわいそうでしたね。よし／＼では私が直ぐなほして上げませう」（足をさすつて上げる）

汽車「もうなほつてしまつたお爺さんありがたう」

サンタ「水兵さんはどうしたのですか」

水兵「僕、玩具戸棚の戸がなかく／＼開かなくつて出られなかつたのですよお爺さん」

サンタ「それは大變でしたね。でもみんなよく來られました、さあこれからクリスマスの會を始めませう。

今日は昔々二千年も前にユダヤと云ふ國にイエズス様と云ふ神様の御子が世界中の人を幸にしやうと思つてお生れになつたお目出度い日なのでみんなでお祝ひするのですがみんなはいつも／＼お坊ちゃんやお嬢様のお友達になつて時には亂暴になげられたり、お庭に忘ればなしにされたり鼠にかじられたりして随分泣き度い様な時にもよく我慢して楽しく遊んで上げるのですから、今日はその御褒美にこらして一日お遊び致しませう、でもあんまりこわされもしないで皆元氣なお顔をみせて下つたので私は嬉しくて／＼

たまりませんよ」

兵隊「僕たちも嬉しくてたまりません。お爺さんは先から僕たちの歌やお遊戯がお好きだから、又しておみせしませう」

一同「それがいゝゝ始めませう」

1 汽車と電車 うた 五人位

(歌詞) チン／＼電車さん、又はガ

ツタンポツポビーポツポ

2 キュビーさん ゆうぎ 五人位

ドント波

3 首ふり人形 ゆうぎ 五人位

私のすきな首ふり人形

4 水 兵 律動 四人位

5 お 人 形 ゆうぎ 四人位

私の人形はよい人形

6 凧と手毬 うた 四人位

トン／＼てまり

7 兵 隊 うた 四人位

8 玩具のマーチ ゆうぎ 全體

やつとこ／＼くり出した

サンタ(拍手)、みんなお手上ですわね。よく出来ました、私は皆のうたやゆうぎが何より好きです、それでは御褒美を上げませう」

(おみやげを配布する)

一同「サンタクローズのお爺さんありがたう」

サンタ「もう幼稚園から坊ちやんやお嬢ちやんが家へお歸りになる頃ですからお歸りにませう、又來年元氣でゐらつしやい、私も坊ちやんやお嬢さんにみなさんを大事にする様にお願しておきませう」

一同「おぢいさんさよなら」

電車「みんな僕に乗つてゐらつしやい」

汽車「僕にも乗つて下さ」

自動車「僕が一番早いのですよ」

(三つに分れて紐の中に入る)

一同うた「さよなら／＼」

静かな曲 幕をとぢる

サンタ「あゝみんな歸つてしまひましたね、もうお家へ着いて知らん顔してお机の上やお戸棚の中に座つてゐるでせう。皆さんにおねがひします、どうぞあのかわいゝ玩具を大事にして下さい。それはそうと玩具のゆらぎやうたも大變お上手でしたが、みんなみなさんが幼稚園で憶えたのをみてゐたのですね、ではきつと皆の方がもうとお上手なことを思ひますが一つづゝしてみせて下さい」

(お客様組、豫め約束しておき各組一二づゝ歌又は遊戯を舞臺に出て演ずる)

サンタ「やつぱりお上手でした。どうもありがとうございました。それでは皆さんにも御褒美を上げませう、

(おみやげを配る)

では又來年のクリスマスにお會ひませう、もう直ぐお正月、みんなお年を一つづゝいたゞくので喜しいでせう、では元氣にお正月のうたを歌つてさよならませう」

お客様一同

うた(もういくつ寝るとお正月のうた)

終り

當日までの仕事(すべての仕事を子供と相談しつゝ子供の手で出来る事で子供自身にさせたいと思ひます)

### 一、相談

- およばれの日の意味をよく話すこと
- 草案を面白く興味を湧く様に良く話すこと
- みんなの好きな持つてゐる玩具を發表させる
- 役割 自分のなりたい玩具をきめる
- お客様に差上るおみやげを考へる

### 二、準備

- 各々玩具の扮装(子供自身で作る様にする)
- キュービーさん……紙に描き切ぬいたお面
- 汽車、電車、自動車、凧、羽子板、毬、犬等……白ボール又は畫用紙に大きく描き切ぬき紐にて胸の前に釣る様に……又は額にその畫を冠の様にしてつける
- 兵隊さん……帽子、肩章、鐵砲、厚紙で作る
- 首ふり人形……クレープペーパー又は布にて三角帽子を作り尖に鈴をつける
- 人形……家庭からほんとうの人形を持參する

おみやげのいろ／＼（どれでもよろしいのを選ぶ）

○くつ下にお菓子（フレイバル館の織紙應用のもの）

○黒猫。黒犬の袋にお菓子……ラシヤ紙とクレープペー

パー

○小箱にお菓子……ラシヤ紙

○小さな家にサンタクロース……畫用紙等

部屋の裝飾

○クリスマスツリー

○輪つなぎ、萬國旗、紙テープ、飾り等

練習

○部分的にしばらく続ける。玩具の餘興の歌や遊戯はいつもしてゐるので總て新しく教へるのではない様、今までのおさらひ位にとどめておきたい

○總練習

言葉を憶へること、この通りでなくても子供が意味を理解してゐれば少々異つてもかまわないやうに

二三回すれば大丈夫です

當日

○舞臺 お客様の席との區別があればよろしい程度で幕があつてもなくてもかまはないこと、椅子を十個位後にならべ先に來た玩具がかける後から來た玩具はその前に座る。サンタクロースは舞臺の右側の端にいつもゐる事

○玩具等、全部始まるまで衝立なぞの後にかくれてゐる

事

以上

注意

サンタクロースの他に進行係の保姆がいつも子供の出る事に注意をいたします。

未だしてみません。案だけですの時間で確といたしませんが一時間位ですむと思ひます、たりないところは補つて下さいませ。（七、一一、一）